

10周年記念誌



埼玉県板金工業組合青年部



ごあいさつ

埼玉県板金工業組合青年部

部長 大島伸夫

昭和58年4月に埼玉県板金工業組合の中に40歳までの青年を集め、会員相互の親睦と啓発を唱え、明日の埼玉県板金工業組合の発展に寄与することを目的に創設された青年部は、今年4月に早10年を迎えることとなりました。『光陰矢のごとし』10年という歴史の中には埼玉県板金工業組合の理事長を始めとする組合の大勢の方々、並びに関係諸団体の皆様、並びに諸先輩の方々の並々ならぬ努力と惜しみないご支援、ご協力に支えられてきた賜物と、青年部一同、心より感謝申し上げます。

さて、この節目の年を迎えるにあたり、この10年間を振り返りますと、決して順風満帆の状況ではなかったかと思ひ起こされます。

全日本板金工業組合連合のご指導のもと、全国的な青年部の創設に従い、創設準備を進め、当県板役員経験者である河野俊尚君が初代部長に就任され、青年部の炎がともりました。このころの創設時の苦労は、いかに実のある青年部活動を推し進めて行くか、暗中模索の中で他県青年部の動向を調査し、当青年部に合致した活動にしてきたことは並々ならぬものがあったことと思います。第2代部長として活躍された加藤英雄君は青年部の積極的な拡大運動を展開し、結果より多くの方々に入会いただきました。また対外的には関係諸団体の方々との交流を図り、それは当組合にとって計り知れない財産となっております。全日本板金工業組合連合青年部部長を努め、全国的に活躍された平野君。

いま私たち青年部員は『温故知新』の教えのもと、青年部員一人一人が今後の青年部、そして組合を積極的に背負って行くことが自己の啓発につながり、自分の生業をより以上育む結果となるものと確信致します。これを機に、21世紀の板金業の新たな展開と確立を目指し、青年としての勇氣と情熱を抱いて未来に羽ばたいて行きたいと存じます。今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



祝 辞

埼玉県板金工業組合

理事長 浅川 清 光

埼玉県板金工業組合青年部十周年記念が盛大に挙行できますことを心よりお祝い申し上げます。

この厳しい不況下に青年部の皆さんが、一致団結し新しい21世紀に向けて今までの伝統を受け継ぎながら、新しい発想の転換を追及し、組合の活性化と発展のため若い力で成し遂げようとする力こそ、これからの板金業の後継者の育成と人材不足の解消に最も必要なことだと思われます。

十周年を節目に、埼玉県板金工業組合青年部が更なる飛躍、発展することをご祈念申し上げ、祝辞といたします。

祝 辞

全日本板金工業組合連合会青年部

部 長 勝 又 清 恵

埼玉県板金工業組合青年部が創立10周年という、輝かしい記念日を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

昭和58年設立以来、10年を迎えられた今日、関係各位の皆様方、そして会員の皆様方には感慨深いものがある事と思います。

10年一昔とよく言われますが、一つの歴史がここに誕生した訳であります。そしてその年々にそれぞれの喜怒哀楽を踏まえ、それらを乗り越えられ、今日ここに至ったものと思います。

10年を迎えられた今日も、我々板金業界を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、更に新たな課題も数多くあるものと考えられます。

このような状況の下で我々青年部、そして業界が一層の発展を遂げていくためには、環境の変化の動向を的確に見通し、若い我々の英知と創造性をフルに発揮され、柔軟な事業活動を展開していく事が肝要と考えております。この様な意味からも、今後更に貴青年部の活発なる行動に大きな期待を寄せるものです。

終わりに、貴青年部が創立10周年を契機として、更に連帯を強め、積極的に事業を推進され益々発展されます様、又上積みされる新たな歴史も素晴らしい歴史となられます事を念願致しております。



祝 辞

関東甲信越板金工業組合青年部協議会

会 長 田 中 仁

埼玉県板金工業組合青年部の皆様、創立十周年おめでとうございます。関東甲信越板金工業組合青年部協議会を代表し心からお祝い申し上げます。

この10年間組合青年部発展のために努力されてこられた役員各位、またそれらの方々を支えてこられた皆様の御苦勞に心より敬意を表したいと存じます。

貴青年部が発足以来常に技能、技術の向上また経営、雇用の改善等に励まれた事はブロック青年部の中に刺激を与え、また夢と勇気を育くんでくれたものだと深く感謝致しております。

関東甲信越ブロック青年部には私自身にもいろいろな思い出があります。9年ほど前から山梨県板青年部の一員としてブロック青年部の行事に参加させて頂きましたが、当初の私は一人親方としてスタートしたばかりだったので組合の事など何もわからず、また青年部組織があると言う事さえ知らず、自分の世界の中だけで仕事をしていました。

ブロックで行う研修会に初めて参加させて頂いた時、他県の同世代の人達が仕事の事や将来の事、また業界のあり方などを真剣に話し合っているのを見て、何か熱いものを感じ、今までの自分の自己中心的な生き方や考え方が変わってしまった様な気がしました。

その後も研修会では数多くの事を学び、仲間もでき、お互いに励まし合ったり、助け合ったり、時には注意も受け自分は一人で生きているんじゃないと言う大きな喜びを感じたものでした。

今思うと、この青年部活動が自分の人生にどれほど役立っているのかと感謝せずにはられません。貴青年部の皆様も初代部長を初めとする役員の皆様の努力により今日まで築き上げられた青年部が必ず役に立っていると思います。今後とも次代のために益々飛躍される事を願ってやみません。私も微力ではありますが今後一層努力し、青年部発展のために尽して参りたいと思います。21世紀に向けて我々業界を取り巻く環境は決して安易なものではありませんが、この10年を立派に歩んでこられた貴青年部ですので、末長く発展される事と思います。

埼玉県板青年部の益々の躍進をご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



創立10周年を祝して

埼玉県中小企業団体青年中央会

会長 黒 沢 久

このたび、埼玉県板金工業組合青年部が記念すべき創立10周年を迎えられたことに対しまして心からお祝いを申し上げます。

また、記念事業の一環としての記念誌の発行は誠に意義深いものがあり、心からお慶び申し上げます。

貴組合青年部は県内建築板金業界の青年経営者が部員相互の交流と親睦を通じて、中小企業の経営と技術の向上を図ることを目的として、昭和58年に青年部を組織して以来今日まで10年、OB並びに部員各位のご努力により活動内容及び活動実績共々、県内に誇りうる地位を築かれたことに対しまして深く敬意を表する次第であります。

今後も積極的な活動により貴業界はもとより埼玉県産業界の発展にご尽力されますよう切望するものであります。

また、貴組合青年部は埼玉県中小企業団体青年中央会の事業活動においても多大な貢献をされ、本会においても確固たる地位を占めておりますが、今後とも、なお一層のご協力を賜りたいと存じます。

埼玉県中小企業団体青年中央会といたしましても、組合青年部間の交流を通じましてその活性化を推進させるべく鋭意努力してまいり所存でございます。

終わりに、貴組合及び青年部の皆様のご健勝と益々のご発展をご祈念申し上げますとお祝いのことばとさせていただきます。



10周年を祝して

埼玉県板金工業組合青年部

初代部長 河野俊尚

青年部創立10周年おめでとうございます。衷心よりお祝い申し上げます。

顧みますれば当時の田中吉太郎理事長より、全板連の要請もあり、埼玉県板にも青年部を設立して貰いたいと相談があり、発起人として数名の同志を集め話し合い27名の青年部員の有志で発足した訳です。発足時の役員を決める時、県板の役員も経験が有る年長の河野がしろと言う事で、初代部長をお引き受け致しました。受けた以上青年部に入って良かったと、部員の皆に喜んで貰える活動を展開して行こうと考えました。当時部員にとって苦しい葛藤が有ったかと思いますが、毎月1回の例会開催を決め経営や技能の講習会や勉強会を実施しました。

出会い触れ合いの中で友情が芽生え、各自の事業活動の上でプラスに成った面が多く有ったと自負しております。皆様の後押しのお陰で、私も部長を4年間勤め埼玉県中小企業団体青年中央会の会長も2年経験させて頂きました。私にとっても大変勉強に成った青年部活動でした。皆様に感謝致すと共に厚く御礼申し上げます。又現専務理事の平野光男君が、上部団体の全板連青年部長として活躍し、加藤英雄第2代部長も現在総務委員長として、埼玉県板を支えて頂いております。現大島部長の発想の元、素晴らしい活動が行なわれている現状を見ますと、喜びに堪えません。私の信条の言葉に「勇断実行」があります。結果を恐れず勇気を持って物事にチャレンジする精神を忘れないようにしたいと思っております。

(3の気…勇気・やる気・根気) 青年部諸君の若い力をこれからも埼玉県板金工業組合発展の為貸して頂きたいと存じます。15周年・20周年に向け一段のご発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



部長時代を振り返って

埼玉県板金工業組合青年部

第2代部長 加藤 英雄

埼玉県板金工業組合青年部の創立10周年をお祝いし、ご挨拶申し上げます。

思い起こしてみますと、現在も青年部員の島野支部長（当時）から、青年部の設立準備委員会のメンバーにならないか、との話を受けたのが青年部との関わりを持つ最初の出来事でした。それまで団体の中に身を置いた経験が無かった私にとって、新鮮な気持ちで参加した当時の記憶がよみがえりますが、その時に2つの大きな誤算が待っていたのです。1つは、初代部会長に河野君を強く押した為副部会長になる羽目となったこと、さらに、もう1人の副部会長の平野君が、全板連青年部の部長を引き受ける事態となり、私が部会長にならざるを得ない状態になったことです。唯これが自分自身を成長させ、団体の在り方、団体の中の個人についての良い勉強をさせて頂けたのですから、誤算のお陰と言うべきですし、又このような誤算を多くの青年部員に経験してほしいと思っております。

10周年、心地よい響きですが、平坦な道程を歩んで来られたものではありません。発足当時は組合員の勧誘に苦勞する事もありましたが、中央会青年部のスローガン「集まればパワー」の如く、地力を付けるには数が必要と考え、県内各地での部員数の拡大活動に奔走した思い出や、毎月の例会テーマやその難易度に頭を悩ませたりしました。是非論はともかく、知識経験豊富な方々なら手助け無しでも大丈夫ですが、そうでない人たちの知識や能力の向上がこの業界全体の改善につながると確信し、だれでも努力さえしてもらえば理解できる程度の例会内容に的を絞りました。ハイレベルの人には他の部員の手助けにより、部員間のコミュニケーションと指導力を養ってもらおうと考えたのです。

思い付くままに綴りましたので乱脈となりましたが、形だけでも部長時代が過ぎせたのも周りでサポートして下さった方々のお陰と心より感謝申し上げます、青年部の益々のご活躍を祈念してお祝いの挨拶とさせていただきます。

例会名	開催日	例会内容	開催場所
第1回	5月26日	例会	鴻巣事務所会議室
第2回	6月23日	板金業経営について 講師 上尾経営センター所長 高橋良吉先生	鴻巣事務所会議室
第3回	7月23日	税務会計問題について 講師 上尾経営センター所長 高橋良吉先生	鴻巣事務所会議室
第4回	8月23日	経営目標の設定 講師 上尾経営センター所長 高橋良吉先生	鴻巣事務所会議室
第5回	9月22日	板金取材研究会 第4回全国青年部研究会報告 組合青年部組織化講習会報告 その他	鴻巣事務所会議室
第6回	10月21日	板金取材研究会No.2 青年部旅行の件 その他	鴻巣事務所会議室
	11月13~14日	研修旅行 銅市金属工業(株)見学	鬼怒川温泉 「鬼怒川観光ホテル」
第7回	12月9日	新製品、税務について 研修旅行の反省 その他	鴻巣事務所会議室
第8回	1月23日	新年会	大宮「東晶大飯店」
第9回	2月23日	材料研究(かわらU) 税金問題	鴻巣事務所会議室
第10回	3月23日	材料研究(かわらU) 現場における実践的な溶接の仕方講習会	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

- 昭和57年11月 青年部設立計画案の作成
- 昭和58年1月 青年部設立準備会の発足
- 昭和58年2月 青年部発起人会発足
- 昭和58年5月 埼玉県板金工業組合

総代会にて承認される。

- 部長 河野俊尚
- 副部長 平野光男
- 副部長 加藤英雄
- 会計 吉野一男
- 監事 川田桂司
- 幹事 島野保夫
- 幹事 伊藤修久
- 会計 斉藤広志
- 監事 浅野照夫

以上の役員にて正式に発足

- 昭和58年9月 第5回全板連青年部研究会(名古屋市)に参加
河野部長/平野副部長/加藤副部長

一月二十五日の午後
青年部設立準備会

「若い人達の、パワフルな笑顔を組合運営の活力として養成したい」
昨年来懸案になっていた

「青年部設立のための準備会」
が、一月二十五日午後二時から開催されることになった。

この招集は次号で報道(詳細は次号で報道)は、傘下の各支部長に文書を送達、部員の選出方を要請しているが、その理由を次のように説明している。
「青年部は、工業組合の特別部会として運営されるようになりませう。」

従って、組合のバックボーンである支部長さんに推せんして頂くのがルールだと思えます。
なお設立までの予定は、1.準備会(自由討議)、2.発起人会(規約、人事などの骨子を協議)、設立総会の準備に入る)3.設立総会(選くも四

月中旬頃までに開催する予定である)以上の通りだ。詳しい問合せは、工業組合の事務局に尋ねて頂きたいとのことだ。



研修旅行

第一回青年部研修旅行記

『力を合わせて行動して 行ける自信を持つた事』

工場見学実施で得られたもの

去る十一月十三、十四日の両日、かねてからの計画であった研修旅行に、本部から田中理事長、町田委員長、山口事務局長、各百脚に乗り、総勢二十名が参加して、各百脚に乗り、総勢二十名が参加して、無事に旅行を終える事ができました。

以下、研修旅行の成果の一部でも、組合員の皆様方に御報告できれば思いを返ります。

十一月十三日(日)組合事務所前、午前九時集合。第一番目の目的地は栃ノインター(東北自動車道)を降り、車で五分位の所にある通称代官屋敷(岡田邸)の見学でした。代官屋敷はその昔の邸をのぞき見る事が出来る刀剣、甲冑、書物及び現存する代官屋敷その他でした。

現在、当の岡田邸は十六代目だそう。岡田邸には他に鶴島別邸と呼ばれている建物があります。これは大正の初め頃から七十年までの大正の時期に、前代、岡田嘉四郎氏が救済事業として建てたもので、千八百坪の敷地に建てられた二百余坪の家は、大工の技術の粋と、日本の銘材と呼ばれるものすべてを集めて作られたもので、今日でも見る人の目を見はらせる木工技術の高さを

随分と盛り込んでいます。まず、玄関を入ると、頭上は木広がり垂木の配置と特別注文の柄な屋根瓦を見ることが出来ます。

次に、廊下の板材でこれは木の厚さは五分、三尺幅、長さ六間の一枚板です。そして黒檀の床柱は六寸角で、天井は唐久杉の三尺幅、又二階の床柱は同じの一枚板、紫檀、黒檀の濃い糊、北山校り杉の柱等の材料をふんだんに取り入れたもので、今ではなかなか見ることが出来ないのであるかと思えます。最後に、二、三ヶ月前に完成した茶室を見ることが出来ました。ここは各所に銅板工事が見られ、青銅の各自は町田委員長を囲んで、銅板談話に大きな花を咲かせていました。

一時間近く経過して、又車中の人となり、カオケで白飯のノドを競い合いながら、一路屋敷の待つ日光へと足を向けました。

午後二時二十分、再びバス、山の上の方は雪が降っているようです。二時四十五分、霧降りの滝見学。四時十七分、竜王峯。五時、鬼怒川観光ホテル西館着。

小休止の後、宴会場へ。田中理事長、青年部会長のあいさつ

に次いで、町田氏の音頭で乾杯、宴もたげなわ、相変わらずカラオケは止みません。

宴会が終っても、皆の話は尽きず、午前二時すぎになっても止まなかった。たぶん町田委員長は寝不足だったのではなにかと思えます。

翌十四日午前八時四十分、鬼怒川観光ホテル発。佐野(東

北道)インターを降りて、国道50号線を西へ...松下電工の瓦を作っている足利工場に十一時五十五分着。次の予定地の時間もあつたので、大いそぎで工場見学...さす天下のナショナルと言いたる程に、オート×化されて、大量に出るわ出るわ。ニューエアーとフルボルトが...中で面白いと思ったのは、表面塗装のラインで吹付け塗装ではなくて、丁度、ベニキを材料に塗るまけるという様なやり方でした。

具体的には余り詳しくは書けません。何せ企業秘密だらけですから。最後にニューエアーのコーンシヤル、ビデオを見せられて、おみやげをいただいた。

いって車中に戻り、佐野を中心に東西をかける感して、東の小山にある鋼市金属工業へと足を向けました。

...午後一時、鋼市着、やっとここで昼食にありつきました。工場見学...さす天下のナショナルと言いたる程に、オート×化されて、大量に出るわ出るわ。ニューエアーとフルボルトが...中で面白いと思ったのは、表面塗装のラインで吹付け塗装ではなくて、丁度、ベニキを材料に塗るまけるという様なやり方でした。

工場のプレスや折板加機本ハセ一文字の加工ライン、軒挿加工ライン、反り挿加工機、堅挿加工ライン等があり、その殆んどはラインが人手を必要とせず自動で動いています。

中でも本ハセ一文字のラインは、鋼材から切断、そして加工ラインとなっていて、三枚及び五枚つなぎの二文字材が一、二分もかからずに出てしまっています。又、堅挿等はコイルからブツ、という間に六尺の堅挿が出来てしまふのは過去の加工から現在のロボット化の一面を見せられた気がしました。

...三時二十五分、各残り惜しい鋼市の工場をあとに、一路帰郷の組合事務所に向かバスを走らせ、五時十五分、無事に旅程を終了しました。今回の工場見学を実施して得られたものは、我々青年部が今後一丸となつて、力を合わせて行動して行ける自信を持つた事です。

互いに気楽に話し合え、又相談、助け合える自分達の仲間を見出した事です。

今後とも青年部、同調張りまますので、各支部の皆様方も暖かい御支援をお願いします。

青年部副部長
岩槻支部 平野光男

昭和58年6月1日

青年部が正式に発足 部会長に河野俊尚氏

少壮業者を集めて設立した「埼玉鋼板金工業組合・青年部」の紹介が、今次総代会の会場で行われた。

1. 役員構成
(部長) 河野俊尚
(副部長) 加藤英雄
(同) 平野光男
(幹事) 島野保夫
(同) 伊藤修久
(同会計) 吉野一男
(同) 斉藤広志
(監事) 浅野昭夫
(同) 川田桂司

2. 運営計画
初代部会長に就任した河野俊尚氏は、運営計画の概要を次のように述べている。

(1) 部会費
表のある事業を行うためには、豊かな財源が必要だ。

しかし、設立早々から余り高額の会費では参加しにくいという意見も多いため、一ヶ月千円以内とした。会費の納入については、一年分前納して頂けるとお願いし、慎重な配慮をした心算だ。

(2) 運営の骨子
板金業の経営に焦点を合わせ、事業主の心構えを凡ゆる面から検討、研究したいと思っています。とにかく現在の心境は、会合に出席して頂くみなさんに、

「千円の会費以上に価値のあるものを提供したい」の一心です。

そこで、部会の活動状況をどうにかみなさんの目で見かめて頂きたい。入会するのはそれくらい結構です。

なお部会の会合は、即刻から開催することに決定しました。この決定についても、第一線で動いている部会員のみなさんの立場を考慮し、慎重な配慮をした心算です。

次に全国組織との関連ですが、当面は県内の組織固めにウエイトをおき、その後正式な決定をしたいと思っています。

だから、即刻全国組織に加入するではありません。県内の有資格同業者に、これが青年部の本当の仕事だ。というものを、役員全体の力でくり上げて参ります。



研修風景

昭和59年度 青年部事業報告

第七回全板連青年部全国技能競技大会を終えて

初参加として上々の成果
今後は地区予選も考慮して

例会名	開催日	例会内容	開催場所
第1回	4月22日	青年部総会開催	鴻巣事務所会議室
第11回	5月15日	「名将・武将が貴方に語る」 講師 宝井琴鶴 先生	鴻巣市民会館
第12回	6月23日	講演会 講師 東光寺住職	鴻巣事務所会議室
第13回	7月23日	「積算及び実行予算の作り方」	鴻巣事務所会議室
第14回	8月23日	材料の研究会	鴻巣事務所会議室
研究会	9月16～17日	第2回青年部研修旅行	磐梯熱海温泉「栄楽館」
第15回	10月23日	鋼板メーカーとの討論会	鴻巣事務所会議室
第16回	11月22日	生き延びるための板金経営について 講師 藤原隆 先生	鴻巣事務所会議室
第17回	12月23日	施工方法研究会	鴻巣事務所会議室
新年会	1月27日	青年部新年会	大宮 「あじせん」
第18回	2月19日	「法律に関する裏表」 講師 弁護士 藤木孝男先生	鴻巣事務所会議室
第19回	3月22日	59年度の反省と60年度事業計画	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

- 昭和59年 6月 全板連青年部総会 [全板会館]
河野部長・加藤副部長・平野副部長出席
- 昭和59年 9月 関東甲信越青年部設立総会参加 [群馬県 草津町]
河野部長・加藤副部長・平野副部長・大島出席
- 昭和59年 9月 全板連青年部研究会参加 [京都府]
河野部長・加藤副部長・平野副部長・大島出席
- 昭和60年 2月 第7回全板連青年部全国技能競技大会 笛木君出場 [長野県 松本技能開発センター]

全日本板金工業組合連合会青年部(山下博部長)では、二月二十三日～二十四日の両日にわたって、第七回全板連青年部技能競技大会を開きました。二十三日は、午後4時から「松本技能開発センター」講堂で、全板の若林理事長、各都府県板理理事長、来賓が参列して開会式が行われた。

翌二十四日、午前8時15分から競技に入り、12時30分迄、熱心に技能を競いあいました。競技には、24都府県板が参加しましたが、関東甲信越板金工業組合協議会からは、次の一部六県が出場しました。

津吹孝行(栃木・高藤敬正(群馬)・笛木治(埼玉)・木村昭一(千葉)・伊藤成美(東京)・武井博(山梨)・橋枝慶史(長野))

なほ、埼玉からは田中理事長ほか、平野関東甲信越青年部協議会副会長、加藤青年部副会長が、競技作品の計測員として出席しました。

今回の様な競技大会には、初めて参加の埼玉でしたが、選手成績も上位で、初参加として、まずまずの成果だったと思えます。

60年度の新年会の席上で、当県板の飯田技能委員長、近藤技能委員の高氏に青年部の大会参加に対しての、協力を依頼したところ、心良く解され、以来展開図又は、参考作品の試作、深夜に至るまでの御指導等々、いろいろと心細やかな御配慮など、笛木連手の努力共々、「御苦勞様でした」



施工管理者教育講習



研修旅行

昭和60年度 青年部事業報告

例会名	開催日	例 会 内 容	開 催 場 所
4月例会	4月23日	第3回青年部総会開催	鴻巣事務所会議室
5月例会	5月18~19日	青年部ミーティング	鎌北湖
6月例会	6月22日	銅板工芸講習	鴻巣事務所会議室
8月例会	8月 1日	新製品の取り組み方	鴻巣事務所会議室
9月例会	9月 6日	建築板金における積算機械化について	鴻巣事務所会議室
10月例会	10月 3日	関東甲信越第1回合同研修について	水上 「じゅらく」
11月例会	12月 6日	ルクサロンルーフ説明会	鴻巣事務所会議室
1月例会	1月26日	新年会	大宮 「あじせん」
3月例会	4月 3日	銅板の着色技術について 神奈川県板との交流会	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

- 昭和60年 7月 関東甲信越ゴルフコンペ参加 団体優勝 [伊香保C.C.]
- 昭和60年 9月 第6回全板連青年部研究会参加 [静岡県 浜松市]
河野部長/平野副部長/加藤副部長/大島
- 昭和60年10月 全国中小企業団体青年部交流会に参加 [群馬県 前橋市]
河野部長/加藤副部長
- 昭和61年 2月 第8回全板連青年部全国技能競技大会 沼上君出場
[山形技術専門学校]



全国技能競技大会
選手 沼上君

昭和60年8月1日

青年部だより

埼玉県板が見事優勝

関東甲信越青年部ゴルフコンペ

去る7月14日、15日に関東甲信越ブロック青年部協議会のゴルフコンペが伊香保温泉にて開催されました。

14日は、午後5時にホテル天坊に全員が集まり、懇親会を行いました。参加者は埼玉、東京、長野、神奈川の4都県から32名が出席しました。

翌、15日は伊香保温泉C.C.において、1ラウンドの都県の団体戦ということではない、我が埼玉県板は浅川副理事長の健闘もあって、見事優勝の事が出

来ました。

これも一重に、皆様方御後援のたまものと確信致しております。次回もこの様な催しを企画しておりますので、組員の有志の方、又、青年部OBの方も奮って参加下さいませ事をお願い致します。

全板連青年部創立10周年記念感懐作品から

建築板金業界の将来像について

今日は1万坪の屋根を葺きはじめた。人間は、現場監督のほうに機械を操作する人の2人だけだ。そう、今はすでにロボットが屋根を葺く時代にはなっているのだ。板金業界も装置産業のひとつに数えられるようになった。機械の調子もいいし、天気もいい。この分なら、2時間もあれば葺き終える。

私は、群馬県の板金屋の3代目として生まれ、小さい頃は工場が遊び場、鉄板が友達、目と鼻が通っていた。そして大学を卒業して、現在は三晃金

業工業に勤務している。また大学での卒業論文は「大スベ屋根に作用する風荷重の研究」といものを書き、実験、またそれに伴う文獻より屋根について多くの知識を得てきた。自分で言のこともあったが、「屋根を葺くために生まれた男」を自負している。しかし私がこのような道に進んで来たのも、幼い頃から板金業に親しんだこと、という背景があったからに他

青年部・明日への挑戦

大南 幸勝 (37歳・建築板金業)

昨夜降った雪が、うすら霜も似しはれる早朝。戸戸発6時3分、特急「はつかり2号」で、今回の競技大会の選手監督である叔父と山形市に向ったのは、こんな朝であった。眠気と競技のことで、頭の中は不安がよぎり、裂図をうまく書けるだろうか、半田づけは……、道具を忘れてこなかったらどうか、等々、こんな事を考えていたので、叔父の問いかけにも、返事をする余裕すらなかった。

昔年の絵にあるような雪景色の山寺を通過する頃、黙って外を見ていただけであった。山形駅で奥羽線乗りかえり、高層審査員、小嶋、小山内、佐藤選手と合流した。駅のホームで、列車から降りて来た高層審査員は、「幸勝、今回こそければ、チャンスは何回もないぞ。」と声をかけられた。それまでの私は、盛岡・仙台大会と、いずれも二位でも、優勝する事など、到底無理なものと思っていた。しかし、弟が、郡山の大会に出場した時に、競技場で某県の監督に「大南君、2回二位になれたんだから満足でしょう。よくがんばりました。ご苦労さんでしたね。」といわれるこの言葉が、また競技大会に、チャレンジする気持にさせた。

「なにこそ、優勝しなければ、二位も最下位と同じではないか、やるしかない。」と。他県の選手は、一ヶ所に集まり、毎日毎日特訓して大会に臨んでいる。今回も、60個や70個は試作し、いろんな点から検討したり、選手同士で批評し合い、監督や先輩などに指導を受けて、自信をもって出場しているはずである。それに比べて、私の練習は、仕事を終えて午後7時頃から一人で作業場に行き、ストローを燃やして、吾手を展開図を書き、それを亜鉛鉄板に移して、それから、一つ一つ型取りをして、吹を起し、半田づけで組立てる作業を黙々とやっていた。「何で同じ所を、こうも失敗するのか。」「どうして、展開図通りに寸法精度が、出ないのだからか。」「と、いらだつせいなのか、左手は、軍手をしているが、半田づくの熱で、やけどが何ヶ所もできて、指の皮が剥がれて、指の肉が赤くなって、右手は、指が腫れて、出来ごごつたようになった。練習を開始して3時間半余りようやく出来上がり、それを計測したり検討している、終わるの4時過ぎであった。仕事の見直しや打ち合わせがあると、毎夜練習できなかった。孤独な練習と闘いながら、思うように作れない焦燥感で、1ヶ月があっという間に過ぎた。

第7回東北6県板金技能大会は、昭和55年3月16日、山形県立山形高等技術専門学校で、A級12名、B級12名の各別代表選手が参加して行われた。使いたれた道具を持ち、作業場に背番号をつけ、厳しい審査員の前に行き、課題の「中流かざり」の製作にたかかった。

最初のうちは、手順通りに進んだのだが、壁の先までできりきりする緊張感の濃く会場で降りている他の選手の作業を気にしながら、制限時間の3時間半、精神を集中させ維持することは、大変であった。「あと5分」との叫びの聲に、手先が震えて最後の半田づけが、思うように出来ない。焦る心と戦いながら完成したのは1分前であった。右手をあげ終るのを合図し、一瞬程の作業場を退場する時には、後に3人の選手しか残っていない。

上位の作品が、僅少の差で審査が難航し、発表まで遅ったのか、6時を過ぎていた。「審査結果を発表します。優勝、青森県大南幸勝君。」一斉に沸き上がった拍手に、自分が自分でない様な気がした。予想もしなかった優勝、夢にまでみた一瞬に、それまでの努力が報われたのだ。

私は、4度技能大会に出場して、自分の職業についての意識が変わった。

そのように私を変えて下さった現場の方々のご指導に、指名して仕事を与えて下さったお客様、さらに、自分のわがままをずっと支えてくれた家族や青年部の仲間達に、感謝の気持ちで一体である。最近、青年部の会合でよく、仕事が少い、単価が安い、業者同志の過当競争、などが話題になる。低迷を続ける業界の中で、事業を維持し、次代を担う後継者として会員相互の親睦を深め、新工法の開発や新技術の導入に努め、斬新な感覚をもって経営しなくては生き残れないだろう。と、いろいろ思うことは多い。しかし、私は、目まぐるしく変化する世情に、乗り遅れる事もなく、そして自分を見失う事なく、「一瞬を照らす職人」として、建築板金作業を通じて、社会に貢献していきたいと思う。

(住所：青森県八戸市大字樺野字下5)

昭和60年3月1日

第16回青年部例会

『法律に関する裏表』

講師 弁護士 藤木孝男先生

2月19日、第16回青年部例会 法律事務所を開いております。は20日、24日の両日、長野県岡上町の職業訓練センターにおいて開催される、全板連青年部主催の「法律に関する裏表」の講演内容が、①員積書を提出する事、②請求権の行使、③請求権の行使、④公正証書の有効的な活用方法、⑤手形に関する実践的な知識、⑥請求書を行う行為の意義、⑦手形に関する実践的な知識、⑧請求書の行使、⑨融通手形と、⑩借地権に関して、⑪使用責任、⑫工事中の天災、⑬借家権について、等々また追加する東松山支部の藤木君の健闘を祈念して、10時30分散会しました。

今回の講師は、上尾市内に法

現在、板金業界を支えているものは、金でも設備でもない。人である。この業界を持来魅力あるものにしてゆくには、第一に人材の育成であると思う。私は学校で建築全般、そして風にならないうちで、このように知識及び学問は、直接には屋根を葺くための役に立たない。開発とか研究はともかく、この世界は知識より経験がものを言う。知識も経験によって得るもの。この意味で私は「板金大学」といふようなものを作ったらおもいのである。今の職業訓練校の板金科の考

しかし今までの板金業界はこの「経験」に頼りすぎていた部分がある。板金技術はもろもろの「こと」、工事監理、営業に関して、もそうである。

このような経験だけに頼った教育では、一人前の人間を作るのに何年も歳月を要する。しかしこれが、理論と知識にもとづいた教育を受けたうえで、経験であったならその期間は何分の一かで済むはずである。そういった意味で私は「板金大学」といふようなものを作ったらおもいのである。

ええ、一歩進めたものである。板金技術の他に建築全般、工事監理、製図、営業などを高度に教育して、くれる学校がほしい。

昭和61年度 青年部事業報告

例会名	開催日	例会内容	開催場所
4月例会	4月3日	総会	鴻巣事務所会議室
5月例会	5月8日	銅板打込み技術講習(第1回)	鴻巣事務所会議室
6月例会	6月6日	銅板打込み技術講習(第2回)	鴻巣事務所会議室
7月例会	7月11~12日	講演会 テーマ《開いて閉るか開かば閉る》 講師 浄源寺住職 穎修氏 " 積水化学工業(株) 宮地直行氏 " 日本鐵板(株) 小倉専務理事	水上温泉 「ホテル ジュラク」
8月例会	8月9日	納涼例会	大宮「栄楽」
10月例会	10月2日	銅板打込み技術講習(仕上げ)	鴻巣事務所会議室
11月例会	10月26~27日	研修旅行 テーマ《業界の現状と新分野への躍》 講師 日新製鋼(株) 永谷洋司氏 " 新日本製鐵(株) 池野茂氏 " 日本鉄鐵(株) 梶山和雄氏	秩父 「ホテル みやま」
1月例会	1月25日	新年会	大宮「東晶大飯店」
2月例会	2月19日	雇用安定のための労働保険について 講師 小山労務士	鴻巣事務所会議室
3月例会	3月6日	埼玉県中小企業団体青年連盟 総会・懇談 (例会見学/銅板工芸)	上尾 「東武サロン」

【主な出来事】

- 昭和61年 5月 関東甲信越青年部協議会部長に当青年部 平野君が就任
 昭和61年10月 第7回全板連青年部研究会参加 [京都市]
 《新素材としてチタンを考える》
 河野部長/平野副部长/加藤副部长/大島
 昭和62年 2月 第9回全板連青年部全国技能競技大会 根岸君出場 [三重県 四日市]

銅板工芸講習会を終えて

青年部副部长 加藤 英雄

若輩でありながら、講師と言った大役をさせて頂き、組合員の方には物足無かった事を感じております。

第一回目(二月十一日)十二日、残念ながら着色を行った三月十四日は、あいにく雨の為に集まってもう一枚にいかず、折角の作品の仕上がりが一ツ元の色の上がりや定着が非常に悪く、しかしながら失敗は成功の

に成ってしまい、出来ればもう一度色の付直しをやりたい気持ちでしたが、晴れた日に又皆様に集まってもう一枚にいかず、折角の作品の仕上がりが一ツ元の色の上がりや定着が非常に悪く、しかしながら失敗は成功の

裏板では、全組合員を対象にこの出来事には目を見張るもので、今後の課題として、作品の経営講習会(三地区)に多く、私にとっても大変良い経験が得られました。

と、今回の実際に作品を仕上げ、掛けて仕上げて来たとの事。その中にも、銅板や硫化加里を、早く用意しなければならぬと、事務所に嬉しいお叱りを受け、今回の講習会本

特別に一日目の終了後に宿題な物を出させて頂きました。又、折角の工芸でもあります。



研修旅行

第八回全板連青年部技能競技大会に参加して

全板連青年部幹事 平野 光男
梶板青年部副部長

去る二月二十二日、二十三日、実技試験に入るまでの休憩時間でも、選手と付き添い者は何や、実技課題の研究に余念がた、付き添いとして、青年部副部長の加藤英雄も同行する事になった。

今回の課題は前にも紙上に紹介されたよう、銅製三ツ又管であった。会場は山形県立山形高専技術専門校で、全国からの参加選手は二十名、付き添い者二十九名、競技関係者二十九名、東北ブロック及び山形県板から多数の支援を受けての開催となった。

第一日は受付後、開会式との食会を終了。開会式は、ロケットの仲間、懇親会を催すのが定例となっている。付き添い者と選手が明日に備えて、お互い頑張ろうの決意を燃やして話にも花が咲き、いつの間にか十時を近く近づきましたので解散。

二十三日、会場到着後、すぐ選手の点呼があり、展開図の作成となった。付き添い者は控えて待機しなければならぬ。展開図の標準時間は時間十五分、打ち時間は時間三十分、会場には報道関係者も来ていた。一時間十分位経過したろうか、沼上選手は図面を完成した。各選手とも皆、緊張している様でもあった。

シムネ板で構成された作業範囲の中で、選手ははたすら完成させる事に全神経を集中して

何時間もの間、選手達は課題の研究で苦労したに違いない。持参した道具類を見ても、その形跡をうかがうことができる。開始の頭を合図に、一気に会場内が騒然となる。付き添い者側のざわめきも、ここぞと大きい様。

私も技能士の実技試験で体験したことではあるが、誰かが拍子木の音や、駒の爪等の音をたてると、精神的におぼろげを感じてくる。あせるな、落ちつけと思ふ程に、作品の精度に悪影響の出る頻度は大になる。

沼上選手のゼッケンは十四番、審査員や関係者を見る中で、こ

メーカー三社の講演会聞く

十一月度青年部研究会報告
青年部副部長 加藤 英雄

去る十月十六日に秩父の地が多く機械の稼働率は低く、技場センター内の会議室に於いて、十一月度の青年部研究会を開き、今回はメーカーから日雇い労働者の数は他産業に比べて圧倒的に多い。このような状態での生産性は上がる苦もなく、他の製造業の生産性の伸びに比べて十分程度の休むをとり、建設関係の生産性がダウンするのには目に見えているという事、時間の節約はばかりに、すぐに研修に入りました。

最初は日新製鋼の永谷副社長より建築の現状及びゼネコンの考水建設と鹿島建設では安さを清水(鹿島)コーポレーションと社名変更している。これはこれ現状を言いにふさわしい言葉として、講演をうけまじと読むむ方が正しい状態だと言った。ゼネコンがあったとした話には同感の思いがいたしました。

しかし、各ゼネコンではすでに対応策を考えてきており、清の為に新材料「チタン」について説明が有りました。この材料は自身、学生時代に化学の野縁には、新分野の開拓や将来の為に新材料「チタン」について説明が有りました。この材料は自身、学生時代に化学の野縁には、新分野の開拓や将来の為に新材料「チタン」について説明が有りました。

三月十三日、全板連事務局から競技大会の結果報告書が送付されました。沼上選手は得点四五〇点満点のうち、三五一点を獲得した。連日、仕事を追われる中、又、家族の仕事中において、課題の研究には大変熱意と努力、そして、家族の協力をなげられた感し得る事が出来る。この努力、熱意を読者の皆様にも御理解頂き、今後共、関係者に暖かい御支援、御協力をお願い致しまして本大会の報告とさせていただきます。

最後に日本鉄板の相山様による材料市況と展望についての話

（第一面から続く）
2 本組合は、加入の申込みがあったときは理事

（自由脱退）
第11条 組合員は30日前までに書面により予告して脱退することができる。

退すことができる。

部長さんを経由して行って下さい。

昭和63年度 青年部事業報告

例会名	開催日	例会内容	開催場所
4月例会	4月27日	総会	鴻巣事務所会議室
6月例会	6月9日	積算の基本と歩掛り	鴻巣事務所会議室
7月例会	7月7日	施工図の意義と必要性	鴻巣事務所会議室
8月例会	8月4日	納涼会	大宮 酒蔵「栄楽」
9月例会	9月11~12日	研修旅行 《コンピューター操作》 ニバンクスについて	日本鉄板 「伊豆赤沢寮」
10月例会	10月6日	施工図の意義と必要性（第2回）	鴻巣事務所会議室
11月例会	11月4日	施工図の意義と必要性（第3回）	鴻巣事務所会議室
1月例会	1月21日	消費税について/食事会	鴻巣事務所会議室
2月例会	2月2日	展開図(花器)講習 「全板連青年部技能競技大会 課題」 講師 加藤英雄君	鴻巣事務所会議室
3月例会	3月2日	消費税セミナー 講師 上尾経営センター所長 高橋良吉先生	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

昭和63年10月 第9回全板連青年部研究会参加 [広島県 福山市]
平野全板部長/加藤部長/大島副部长/野口君
平成元年2月 第11回全板連青年部全国技能競技大会 高田和雄君出場
[宮崎県 宮崎高等技術専門学校]

昭和63年11月1日

埼玉・群馬交流研修会開く
県中小企業団体青年中央会
青年部部長 加藤 英雄

本年度より、中小企業団体中央会の青年部の名称が埼玉県中小企業団体青年中央会と変更され、当県板の河野前部長が会長に就任しております。この中の活動の一つとして、年一回埼玉と隣県の群馬の交流研修会が開かれており、今回は群馬県側の主催で、群馬の森美術館と日本原子力研究所高崎研究所の視察をしてから講演会と言った行程で行われました。

私は、美術関係が全くわかりませんので次の原子力研究所に話を進ませていただきます。隣町といった感じさす群馬市内に、原子力の研究をしている施設があるとは思っていません。ただ、興味津々で中に入ってしまった。この施設の中で、高さ十二mのかまぼこ型の研究施設がまず目に飛び込んできた。この屋根を葺くのは大変だった。説明会場へ案内されて、野島係長よりこの施設や研究の内容についてこの分り易い説明をして戴きました。この施設の中では放射線についての研究をしていて、コバルト60を使った研究の成果は工業、農業、食品、医薬品、さらに環境の整備等に幅広く活用されていて、例えばじゃが芋の目が出ないようにしたり、食品にかびが生えるのを防ぐことも出来るという事で、

防くことも出来るという事で、中央会の青年部の名称が埼玉県中小企業団体青年中央会と変更され、当県板の河野前部長が会長に就任しております。この中の活動の一つとして、年一回埼玉と隣県の群馬の交流研修会が開かれており、今回は群馬県側の主催で、群馬の森美術館と日本原子力研究所高崎研究所の視察をしてから講演会と言った行程で行われました。

私は、美術関係が全くわかりませんので次の原子力研究所に話を進ませていただきます。隣町といった感じさす群馬市内に、原子力の研究をしている施設があるとは思っていません。ただ、興味津々で中に入ってしまった。この施設の中で、高さ十二mのかまぼこ型の研究施設がまず目に飛び込んできた。この屋根を葺くのは大変だった。説明会場へ案内されて、野島係長よりこの施設や研究の内容についてこの分り易い説明をして戴きました。この施設の中では放射線についての研究をしていて、コバルト60を使った研究の成果は工業、農業、食品、医薬品、さらに環境の整備等に幅広く活用されていて、例えばじゃが芋の目が出ないようにしたり、食品にかびが生えるのを防ぐことも出来るという事で、

防くことも出来るという事で、中央会の青年部の名称が埼玉県中小企業団体青年中央会と変更され、当県板の河野前部長が会長に就任しております。この中の活動の一つとして、年一回埼玉と隣県の群馬の交流研修会が開かれており、今回は群馬県側の主催で、群馬の森美術館と日本原子力研究所高崎研究所の視察をしてから講演会と言った行程で行われました。

私は、美術関係が全くわかりませんので次の原子力研究所に話を進ませていただきます。隣町といった感じさす群馬市内に、原子力の研究をしている施設があるとは思っていません。ただ、興味津々で中に入ってしまった。この施設の中で、高さ十二mのかまぼこ型の研究施設がまず目に飛び込んできた。この屋根を葺くのは大変だった。説明会場へ案内されて、野島係長よりこの施設や研究の内容についてこの分り易い説明をして戴きました。この施設の中では放射線についての研究をしていて、コバルト60を使った研究の成果は工業、農業、食品、医薬品、さらに環境の整備等に幅広く活用されていて、例えばじゃが芋の目が出ないようにしたり、食品にかびが生えるのを防ぐことも出来るという事で、

青年中央会会員大会講演

『女性から見た魅力ある青年経営者像』

青年部長 加藤 英雄

青年中央会の会員大会が十一月十九日(木)大宮「サンパレス」に於て開催され、今回は東板青年部員その他にも飯田経営委員長と上尾の松島支部長に参加して頂きました。

河野会長の開会の挨拶に続き、埼玉県商工部の羽鳥様の祝辞、大沢事務理事のこれからの経営者に対する、勇気、そして特に想像力が必要である、と言った祝辞を戴いた後、元日本航空国際線ステューデントの権三子重子女士による講演に移りました。

人は相手のどの部分に関心を持つのだろうか、男の場合は①肩書②収入③外見であると言っています。では女性の場合はどう見るのか、未婚の人は①外見②収入③肩書、既婚の人は①収入②肩書③外見の順になる。では真の価値観はどこに出てくるのであろう。肩書が良く、仕事でバリバリ出来て収入があっても、その人の品性は普段の何気無い行動、口に出して来るもの、周りに目を向け、直接関係の無いところからもヒントを得て来ないという魅力は減って来、さらにその内面の能力や実力も人に評価され引き立てて貰わなければ生かす事が出来無いのです。それには自分のセルフイメージを高め、好感をもってもらえるような印象付けが大切になって来る訳です。

したらいいかと言つこになりませんが、心理学者のラビニアンによさ、顔やしぐさの表情で相手の中身を知ろうとする割合は、半分以上の五十五%で、次が声の調子や話し方によって事

差の好意的な受ける感情に優り出て来るのが、約四割の三十八%、この二つだけで九十八%を占める訳だから、これらに意識して自分で作っていく必要がある。では残りの七%は何だろうか、良い表情を作り、声の調子を良くして、態度に自分の品性が出て来ししまうのですから、態度も大切な物になる訳です。

昭和63年2月1日

第9回全板連青年部研究会報告

青年部副部長 大島 伸夫

力しなければならぬという事でした。全ては無理にしても、ハッキリはなすとか、品性の向上のためにも周りに目を向け、少しは魅力のある人になるよう頑張らなくてはならないと考えております。情報交換親睦会では、さっそく周りに目を向け、中央会の職員の方を始め異業種の人の情報交換や、楽しい親睦をして参りました。

今年の会場は、広島県福山市からバスで30分の瀬戸内海に面した、風光明媚な瀬戸浦の浦サイドホテルにて開催されました。当会場の屋上から晴れていれば遠くかなた瀬戸大橋が見られるとのことでした。大橋が見られるとこの大橋が、あいくの雲天の為、その雄姿はここでは残念ながら見られませんでした。

10月23、24日の2日間、毎年恒例となりました全板連青年部主催の研究に参加させて頂いた報告をいたします。今回は、200名程の参加の中、埼玉県から(参加)大島、そして本会の主催者全板連青年部長を務めま

中、各自これからの生き残り戦略は技術の養成が必要であり、自分で育なければ育たない。ここ何年かは面一化されたものを作ってきたので、技術者ではなく技能を養成して個性化だが、時代の波と共に個性化と相俟って、多様性の進歩中、技術者の必要性が再び訪れて来た。但し、過去の技術があれば、しかも良い品物を作っていれば、自企業のPRの必要性が特に問われる時代になった。

今年の研究の目的は、「これからの青年経営者像をめぐり、2日間に亘り、今後の日本経済の方向と、人的問題を含んだ上で国際化、国内での社会環境の変化を考慮し、青年経営者をめざす者としての今後の進む道についてカリキュラムが組んであります。最初に、これからの研究テーマを踏まえ基調講演として、

現状の日本経済の繁盛の原因と今後の日本経済の展望、青年部主権の研究に参加させて頂いた報告をいたします。今回は、200名程の参加の中、埼玉県から(参加)大島、そして本会の主催者全板連青年部長を務めま

要25日は朝8時より、当ホテルのオーナである納シーサイドホテル・北村博社長の講演会に入りました。テーマは「人生百話」と題し、現在までの苦を深めました。(第三面へつづく)



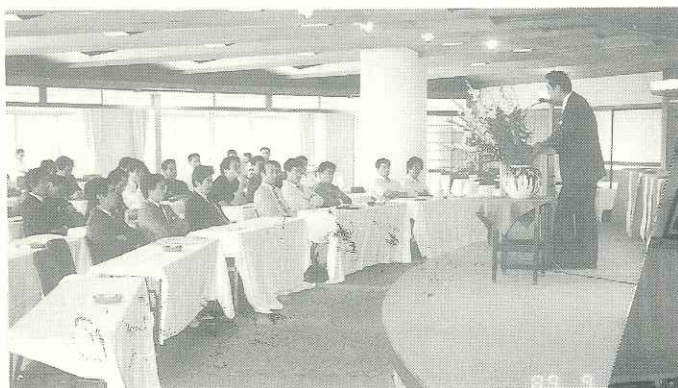
第11回全板連青年部全国技能競技大会 選手 高田君

平成元年度 青年部事業報告

例会名	開催日	例会内容	開催場所
4月例会	4月13日	消費税カルテルと対応ワープロ	鴻巣事務所会議室
5月例会	5月18日	総会・卒業式	鴻巣事務所会議室
6月例会	6月16日	積算の実践	鴻巣事務所会議室
7月例会	7月13日	経理・経営の基本(第1回)	鴻巣事務所会議室
9月例会	9月8日	労務のノウハウ(第2回)	鴻巣事務所会議室
10月例会	9月24~25日	「全板連青年部研究会」	「西熱海ホテル」
11月例会	11月2日	「経営の戦略」	鴻巣事務所会議室
1月例会	1月21日	新年会	大宮 酒蔵「栄楽」
2月例会	2月9日	展開図講習(変形エルボ)	鴻巣事務所会議室
3月例会	3月9日	遺産相続の諸問題	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

- 平成 元年 7月 関東甲信越板金工業組合青年部協議会 G. C. 参加 [長野 C C]
加藤/浅川/平野/野口/落合/浅野/坂ノ下
- 平成 元年 10月 第10回全板連青年部研究会参加 [静岡県熱海市]
平野/加藤/小林/大島/野口/河野/栗原/沼上/鈴木
- 平成 2年 2月 第12回全板連青年部全国技能競技大会 高田和雄君出場
4位入賞 [青森県 青森高等技術専門学校]



← 第10回全板連
青年部研究会



7/13 例会 「経営戦略」藤木先生



青年中央会 通常総会にて

「これからの若手経営者の条件」

講師(地域産業経済研究所所長、静岡県立大学教授)山崎克氏

入間支部青年部 坂ノ下 旭

去る6月9日(金)大宮のサンパルスで「埼玉県小企業団体青年の中央会の第14回通常総会」が行なわれました。埼玉県板金工業組合青年部からも加藤部長をはじめ大島さん、沼上さん、野口さん、そして私、坂ノ下が出席しました。

さて、総会終了後、記念講演がなされました。テーマと講師は、上記に述べた通りです。山崎氏は冒頭に、「世の中の変化をどうとらえるか。」と述べられました。それは世の中の変化、時代の流れに順応した経営をしていかなければならないということと、時代の流れや世の中の変化を把握することは難しいと思われ、一方、無理に予測される方が多いと思えますが、山崎氏は「それは不可能だ。も気をつけなければならない。」と述べ、消費者のニーズは、どうも、一生かけて調べても分からない、だから世の中の変化や消費者のニーズを調べるな、そんなことに大切な時間を費やすのはもったいない。」と述べられました。

それではどのように考えていかなければならないのですか、山崎氏がおっしゃるには、「変化とは、事実としての変化(結果論)、イメージとしての変化(幻影として知覚した変化)があり、後者に知覚し言うならば、自分の会社の未来像・将来像を

自分なりに描くことであり、ここに「企業とは革新が必要だ」といふこと、最後は大きなリスクにぶつかるとおっしゃって、この講義を聞いて、疑問点がつけられるかですが、山崎氏に申し上げるべきは、①知識、②情報、③歴史観、④人生観、⑤構想力に視点を置き、①において問題意識をシャープに持つことが大切であり、情報とは価値が決る。市場や技術革新はどう変化しているのか。競争相手には、どのような業者がこれか。現れてくるのか把握しなければならぬ。また、競争相手に

どうしたらそのようなイメージを描くことができるか、山崎氏に申し上げるべきは、①知識、②情報、③歴史観、④人生観、⑤構想力に視点を置き、①において問題意識をシャープに持つことが大切であり、情報とは価値が決る。市場や技術革新はどう変化しているのか。競争相手には、どのような業者がこれか。現れてくるのか把握しなければならぬ。また、競争相手に

強する事により、自分の地域で、どのような変化が展開されているかが認識できるように、それと並行して、経営学を進めていくうえで、同業者同士では見えない部分・穴が見えてきます。つまり、同業者同士では同じ長所・短所を語り合うのがほとんどだと思えます。だから、畑違いの経営者達と語る事により、我々にはない彼らの長所を我々の業界に取り入れ、この業界の世界を広げて行く事ができるのではないのでしょうか。それは何も地場産業だけではなく、すべての業種に於いても同じなのです。そして、あらゆる経験を、

たくさん情報と知識を得ることにより構想力を身に付け、プラス思考で自分なりに時代の変化や自分の会社の未来像を描くことと、共にその目的が達成できるように願って、願いつつ、(ヒゲマリン)効果 100%・200%の力を出さずして盛況で行けば、それに必要な人必然にして、巡り合える事が出来ると思えます。そして、そのようなすべての人達(社員)の力を受けながら、目先のリスクから逃げず、常に挑戦して行けば必ず成功する事ができるだろうと確信いたします。

平成2年3月1日

全板連青年部技能競技大会 見事に四位入賞

本県選出の高田和雄氏

去る一月十七、十八日に全板連青年部技能競技大会が青森県青森高等技術専門校で開催された。

各県青年部より選出された
第一位 大阪府・宮村浩樹 25歳
第二位 岩手県・小原一夫 34歳
第三位 愛知県・小山高弘 23歳
第四位 青森県・石岡鉄春 39歳
第四位 埼玉県・高田和雄 40歳

表彰は五月の全板大会場で
行われ、入賞者にはそれぞれ
賞状が送られることになっている。

課題は銅板製による「変形エ



全板連 全国技能競技大会
高田君 出場

平成2年度 青年部事業報告

例会名	開催日	例会内容	開催場所
5月例会	4月14日	総会/卒業式	鴻巣事務所
6月例会	6月14日	「相続税」 講師 高橋先生	鴻巣事務所
7月例会	7月5日	「笠木アラカルト」 講師三洋工業(株)	鴻巣事務所
8月例会	8月4日	納涼会	大宮 Weビル ビヤガーデン
9月例会	9月6日	「利き酒会」 講師権田酒造(株)	鴻巣事務所
10月例会	10月4日	「新しい外壁材を考える」 講師IG工業(株)	鴻巣事務所
11月例会	10月28~29日	青年部研修旅行 「関東甲信越板金工業組合青年協議会研究会」 [饗躰] 弥彦神社 [工場] 玉川堂 / ニイガタ製販	新潟「ホテル弥彦」
1月例会	1月20日	新年会	熊谷「いづみ寿司」
2月例会	2月8日	展開図講習 講師 加藤英雄君 「全板連青年部技能競技大会 課題」	鴻巣事務所
3月例会	3月8日	施工図講習 講師 野口育男君 「日板協青年部全国建築技術コンクール 課題」	鴻巣事務所

【主な出来事】

- 平成 2年 4月 第8回青年部総会にて当青年部部长に大島君就任
卒業式開催 卒業生 河野/鈴木君
- 平成 2年 5月 埼玉県板金工業組合の保証制度委員長にOBの河野氏就任
- 平成 2年 5月 関東甲信越青年部協議会幹事に加藤顧問就任
- 平成 2年 7月 建設業経営者後継研修に平野全板青年部部长参加
- 平成 2年 9月 第10回全板連青年部研究会参加 [宮城県 松島]
平野全板部長/大島部長/加藤顧問/野口副部长/川田君
- 平成 2年10月 関東甲信越青年部研究会参加 [新潟県 弥彦]
当青年部研修旅行を兼、弥彦神社、玉川堂、ニイガタ製販見学
- 平成 3年 2月 第13回全板連青年部全国技能競技大会 馬場君出場
第1回日板協全国建築技術コンクール 大島/野口君出場
第2位(建築局長賞)大島部長・第5位野口副部长が受賞
- 平成 3年 3月 全板連第2次ビジョン作成委員会に平野全板青年部部长が参加



第13回全板連技能競技大会 馬場君
第1回日板協建築技術コンクール 大島/野口君



大島君 2位 野口君 5位入賞

第一回日板協青年部全国建築技術コンクール
見事！大島選手二位入賞
野口選手も五位入賞決まる

山梨県甲府市の山梨県中小企業人材開発センターに於て、3年2月23、24日開催されました。

参加選手は、建築技術コンクールが17名、技能競技大会が26名、付添者、関係者を含めると190余名を数える大会になりました。

当埼玉県からは建築技術コンクールに熊谷支部の加選手の中で最年少の22歳でしたので、とまどいと

不安と、精神的なプレッシャーは大変だったのではなからぬと思いますが、今回参加で得た事を良き教訓として、平成4年の大会に是非共、再度チャレンジして頂きたいと思っております。

尚、本年度5月16日四国の徳島県に於て開催された全板金業者大会に於て第一位には建設経済局長賞、第二位には全板連理事長及び青年部部長の連名による表彰がなされる予定です。

まずは、お二人の入賞おめでとうございました。

脳の3%しか使っていない？

青年部長 加藤 英雄

平成二年の新春講演会が、青年中央会主催で二月八日に大宮「サンパレス」に於いて開催され、当温板より浅川副理事長を始め、青年部員四名が出席いたしました。

今回は「企業を伸ばす現代流のキーポイント」と題して、脳力開発総合研究所長の荒井節子先生の講演で、脳力と能力の違い、経営の基本と戦略、戦術、戦術について話をいただいた。人間の脳細胞の数は百四十億有り、誰でも同じだけ持っているが、誰でも同じだけ使っていない。

その内の3%程度しか使われておらず、九十七%の脳細胞は未開発の状態である。未開発の部分を開発できるか否かで、その人の能力が大きく変わってくる。又経営の基本は人間学で有り、経営者の考え方が従業員に浸透し、全員の方で企業を引っ張って行かなければ、企業は成長して行かない。

これは、新幹線が早く走る為の状況を考えて、常にプラス（十）指向に徹する事が必要である。無気力、無関心、無感動は最悪である。基本の戦略を持ち、戦術の積み重ねで、企業人も成長して行かなければならない。

建設業経営後継者研修に参加して

岩槻支部 平野 光男

去る7月3日〜6日、建設業振興基金構造改善第二部が、企画する第2回建設業経営後継者研修に参加する機会を得たので、参加の申し込みを致しました。

実は昨年、第一回の企画があり、申し込みをされたのですが定員が30名のところ、応募者が全国各地からあったとの事。

今回参加した仲間についてみますと、約半数の人達がか第1回目の着順にもれた方々でした。私もその一員

で参加する事ができました。研修内容は別表のとおりで、実際にはこのカリキュラム以上に研修時間はビッシリでした。

しかしこの研修に参加して何故か、時間の重みを感じたことがあります。：通常私達が参加する研修会や講習会はいろいろあり、それなりに経営学の一助にはなっていたと思えます。

しかし、建設業の立場でしかも、後継者ための研修というものは殆んどなかったのが現状ではないかと思えます。

術の積み重ねで、企業人も成長して行かなければならない。更に幹部たる者は、テクニクより誠実さを大切に考え、「誰が」でなく「何が正しいか」を判断し（誰が）は個人批判そのもので有る、我欲に走らず、常に学び、方策や計画性を持ち、高い目標に向かう冷静に客観的に情勢を分析し、部下を育て、手柄の一人じめはしないが、最終責任は自ら取る事だけではない。

最後に先生の言っている詩を紹介して報告いたします。

その時間のゆとりができたなら
その内仕事から手が離れたら
その内その内と
できない理由を繰り返す内
結局何もやらなかった
空しい人生の幕が降りて
頭の上に寂しい墓標が立つ
その内その内と
弁解しながら日が暮れる
いま来たこの道戻れない

(3)経営組織の理論

(1)経営理念の確立

等に関しても、我々経営者がそれをいかに考え分析して行くかの手法の修得に欠けていたのではないかと
我々が後継者として、この板金業を学び、今日に至っては、己の後継者と若年就労者雇用に関して、いかにこれからの時代を乗り切り、事業を維持存続させるかという結論に終始するところである。

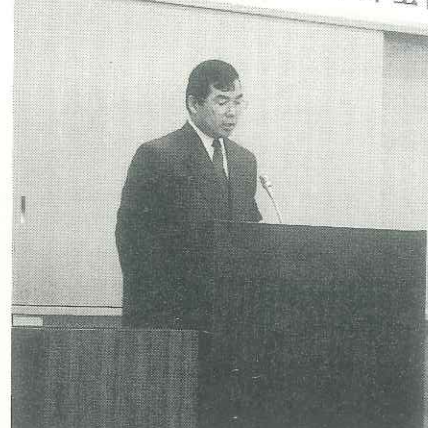
今回の研修参加者の最少年齢は25歳。最高年齢が43歳の私でした。

今回の受講によって、経営の基礎を勉強し、今後の

事業運営の励みとなりました。この様な企画は今後も
回回開催されるようです。
是非共、後継者の若い人達にはこの研修にチャレンジし、新しい経営感覚を身につけられ、今後の事業の発展に有効な手段・発想を生かして、より良い板金業の経営に役立てられればと思います。報告致します。

経営情報（社会・経済・政治）等の考え方。

第13回全板連青年部全



全板連青年部部長 平野君



関東甲信越青年部ゴルフコンペ 長野C.C.

平成3年度 青年部事業報告

例会名	開催日	例会内容	開催場所
4月例会	4月11日	総会・卒業式	鴻巣事務所会議室
5月例会	5月9日	「新しい屋根材料」について 講師 日新製鋼(株)	鴻巣事務所会議室
6月例会	6月16~17日	研修旅行(東京方面) 三井金属研修センター	芝メルパルク泊
7月例会	7月11日	「見積もりから原価計算まで」 講師 副部長 野口育男君	鴻巣事務所会議室
8月例会	8月10日	納涼会	ホテルサンルート熊谷
9月例会	9月12日	「アルミ建材全般」について 講師 不二サッシ(株)	鴻巣事務所会議室
10月例会	10月9日	「関東甲信越板金工業組合青年協議会 第8回経営研修会」 準備打ち合わせ全体会議	鴻巣事務所会議室
11月例会	10月26~27日	「関東甲信越板金工業組合青年協議会 第8回経営研修会」	ホテルサンルート熊谷
1月例会	1月23日	新年会	大宮 東晶大飯店
2月例会	2月13日	展開図講習 講師 馬場信義/加藤英雄君 全板連青年部技能競技大会 課題「一輪挿し」	鴻巣事務所会議室
3月例会	3月12日	「ひとめでわかる経営ハンドブック」講演会 講師 全板連青年部 直前部長 平野光男君	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

- 平成 3年 4月 第9回青年部総会/卒業式開催 卒業生 川田君
- 平成 3年 5月 埼玉県板金工業組合の副理事長に当青年部OBの河野氏
同く 専務理事に平野君、総務委員長に顧問の加藤君就任
- 平成 3年 5月 埼玉県青年中央会副会長に大島部長就任
- 平成 3年 10月 関東甲信越青年部研究会を当青年部主管 [ホテルサンルート熊谷]
- 平成 3年 11月 第11回全板連青年部研究会参加 [岡山県 岡山市]
- 平野全板部長/大島部長/加藤顧問
- 平成 4年 2月 第14回全板連青年部全国技能競技大会 馬場君出場
第2回日板協全国建築技術コンクール 野口/戸井田君出場
第5位に戸井田君が受賞 [愛知県岡崎市]

第二回日板協青年部全国建築技術コンクールに参加して

上尾支部青年部 戸井田 彰

現在自分が業として 業界というのは自分が思っ
建築板金業界で、かくも本 ている以上に、本気だ
格的な技能・技術を競い なる」
合う場があったのか。板金 これが今回、日板協青年
は学生、の頃より意匠設計を
志し、一時は設計・現場管 理の会社に勤めていた事も
あったため、現在の板金業 業を営むようになってからも
施工図等の作業は自分が行 う機会が多く、今回のコン
クルールが愛知県岡崎市で開 催される事を知り、「ぜひ
参加してみよう」と思いま 強く受けた印象でした。私
した。 参加してきただけに多少の

あせりを覚えました。 廻りの選手を見廻しても
皆やる気マンマンの表情。 平素「施工図は自分の仕事
いつもやっている事なの であってあわてる必要無
し」という無謀ともいえ る判断をし、なにも下準備
をせずに今回に望んだため
初日の多少のあせりが、2
日目には大爆発。

今回のコンクールに参加 して、久しぶりに入試の様
な緊張感や、全国から集まっ て来る同志達と会う機会を
もつ事ができ、この業界で 生きて行く事にまたひとつ
大きな意義を感じる事がで きた様な気がします。

というのも当口の出題が 木造住宅、瓦葺き屋根 の施工図というもの。私の 事務所では鉄骨造・RC造 の工事中心のため、木造に 関しては全くの無知。かろ うじて1日目の夜、大島部 長を中心におこなったミミ ティングの時に木造の納め についても話し合っていた ため、かろうじて時間いっ ぱいで作品をなんとか完成 させる事ができました。
結果はなんと5位入賞！ 初参加としては最高の結果 だと思います。しかし他の 選手の参加の姿勢・自分の 勉強不足・考えのあましさ等 を思うと反省しなければな らない事も多く、自らを見 直すうえで大変良い機会だっ たと思います。



関東甲信越研究会 H.サンルート熊谷



卒業式 川田君

全板連青年部の競技大会について

全板連青年部部長 平野光男

埼玉県板組員各位におかれましては、益々の御盛栄の事と拝察申し上げます。全板連の事業も時代の趨勢にともない、業界の人手不足や構造改善、労働時間の短縮等と抱える問題は種々山積致しております。私共、青年部の事業においても、このような話題ばかりが交錯している昨今であります。：青年部事業の中では、研究会・業界の情報収集は技術・技能・経営に関する事と全国技能競技大会とが、今迄の事業の二本柱となっております。今般平成三年二月の大会には、建設省の後援を頂き、日板協青年部全国建築技術コンクール第一回目が同時に開催される事になりました。このコンクールの事業目的は、この板金業界の資質の向上を目指し、建築物にかかわる施工図や、建築板金工事の施工技術等を競

埼玉県中小企業団体中央会

青年部県大会に参加して

青年部 馬場 信義

先日大宮サンパレスにて中央会青年部県大会が行われました。当組合からは、部長（大島さん）と副部長（見川さん）と自分の二人で参加して参りました。自分は、中央会に出るのの初めて、どのようなことをするのだろうかという期待をして行きました。

今回のテーマは、青年経営者で国際化問題と言うことで、講師としてJ.E.T.R.O埼玉経済国際化センターから、宮本 正先生がいらして、この中で言われ

合って、この大会を通じて広くの業界の内外部に對する働きかけや、活性化に寄与する事を目的とするものです。是非共、組合員の皆様方におかれましては、この事業を御理解頂きまして、青年部活動に御支援願えれば幸いです。

又、一般組合員の方々のオプザーバー出席及び見学等も大歓迎ですので宜しくお願い申し上げます。

ていたとは、これから後継者を行って行くためには、その仕事のやりがい、また自分の時間をつくれる、そして収入たと言っておりました。

中小企業だからそのようなことが確かに、各事業主の力でやって行けるのではないかと思いましたが、今回自分の仕事とは、あまり関係の深いものではありませんでした。感想としては各事業所において出てくる問題は皆同じようなものばかりだと思えました。

また、閉会した後に参加者全員で、交流懇親会が行われました。ここではいろいろなか職種の人達と、一緒に

に食事を致しました。最初のうちは、静かでしたがだんだん打ち解けて来て、話が盛り上がりました。たまたま自分の隣に座った人は、自動車整備士でした。自分も車が大好きなのでいろいろと話を聞かせてもらい、狭山の方でしたが友達になることができました。

今回、初めて中央会へ参加させていだいて、講演の方もとても勉強になりましたが、自分としては、やはりいろいろな職種の方がおられたので知人の幅を広くすることが出来て、とてもよかったです。

明日のゴルフのことなど忘れて酒をくみかわし、同業の人々がこれだけ一同に集まり和気あいあいと過ごす姿に私もガンバラなくてはと思い懇親会を後にしました。

翌朝、昨夜の懇親会の差かその後の為か頭をおさえての食事の後、会場の群馬カントリークラブへ向かう。会場に付くと、昨夜の延長のような人もいて賑やかなこと、打解けた中でもスタートホールでも第一打は皆緊張きみで右に行ったり、左に行ったりとたいへん。なかなかスコアがまともならず、アップダウンと暑さも加わって、午後からは口数が少なくなり静かなゴルフになってしまいました。が、風呂の再来とゴルフの話も加わっての大パーティーで

関東甲信越ブロック青年部ゴルフコンペに参加して

青年部副部長 見川 和明

去る7月7日(日)8日(月)関東甲信越ブロック青年部協議会親善ゴルフコンペに大島部長を始め、7人の部員で参加して参りました。

7日午後四時ごろに全員、宿泊会場の水上温泉松ノ井ホテルに集合し「風呂浴びて仕事の疲れをいやし、後、東京都板青年部主催の大懇親会に、私は初めての参加でしたので少し不安でしたが、

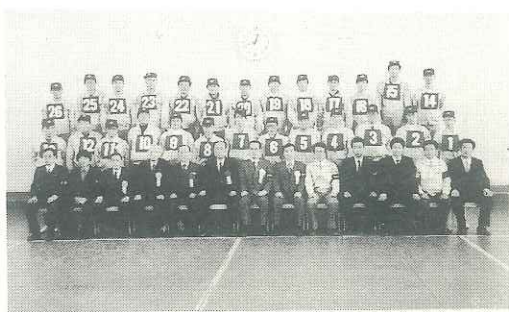
が、会場づくると多数の参加者となごやかな雰囲気すぐに慣れ、一通りの挨拶の後、各県板ごとに活動報告と参加者の紹介があり、もう何年も参加されている人が多く、何か支部の懇親会をしているような気になります。

明日のゴルフのことなど忘れて酒をくみかわし、同業の人々がこれだけ一同に集まり和気あいあいと過ごす姿に私もガンバラなくてはと思い懇親会を後にしました。

翌朝、昨夜の懇親会の差かその後の為か頭をおさえての食事の後、会場の群馬カントリークラブへ向かう。会場に付くと、昨夜の延長のような人もいて賑やかなこと、打解けた中でもスタートホールでも第一打は皆緊張きみで右に行ったり、左に行ったりとたいへん。なかなかスコアがまともならず、アップダウンと暑さも加わって、午後からは口数が少なくなり静かなゴルフになってしまいました。が、風呂の再来とゴルフの話も加わっての大パーティーで



戸井田君 5位入賞



第14回全国技能競技大会 馬場君出場
第2回建築技術コンクール 野口/戸井田君出場

平成4年度 青年部事業報告

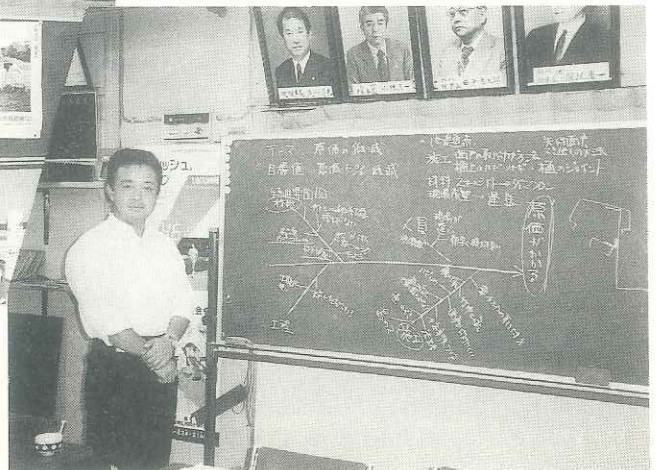
例会名	開催日	例 会 内 容	開催 場 所
4月例会	4月9日	総会・卒業式	鴻巣事務所会議室
6月例会	6月10日	「TQCの勉強会」入門から取入まで	鴻巣事務所会議室
7月例会	7月8日	青年部10周年式典記念事業の事前準備会「心をひとつに」	鴻巣事務所会議室
8月例会	8月8日	納涼会家族会「パーゴルフバーベキュー大会」	大宮 荒川河川敷
9月例会	9月15~16日	研修旅行 「CAD・カバールーフ・工場見学 美段一文字」	日板 伊豆赤沢寮
10月例会	10月14日	「TQCパートII」実際に体験	鴻巣事務所会議室
11月例会	11月11日	青年部10周年式典記念事業の事前準備会「心をひとつに」	鴻巣事務所会議室
1月例会	2月6日	新年会	大宮 東天紅
3月例会	3月10日	全国建築技術コンクールの勉強会	鴻巣事務所会議室

【主な出来事】

- 平成 4年 4月 第10回青年部総会／卒業式開催 卒業生 栗原(富)・平野君
- 平成 4年 7月 関東甲信越板金工業組合青年部協議会G.C.参加
大島／加藤／野口／見川／町田／戸井田
- 平成 4年10月 関東甲信越青年部研究会参加 [水上 行/松の井]
大島／加藤／野口／見川／戸井田
- 平成 4年10月 第12回全板連青年部研究会参加 [福岡県 博多市]
大島部長／野口副部長
- 平成 5年 2月 第3回日板協全国建築技術コンクール 見川／戸井田君出場
第2位に戸井田君が受賞 [兵庫県神戸市]



卒業式



10月例会

関東甲信越板金工業組合青年協議会
第8回親睦ゴルフコンペ参加報告

青年部部长 大島 伸夫

関東甲信越板金工業組合
青年協議会主催、新潟県板
金工業組合主催による平成4
年7月5日〜6日新潟県の
月岡温泉にて開催されまし
た。当県板青年部では3月
に予選会を「大宮カントリー
クラブ」にて開催し、その
結果今回のゴルフコンペ
に臨みました。

月岡温泉の「ホテル泉慶」
にて宿泊し、約120名の
参加者のもと楽しく和気あ
いあいなか、明日のコン
ペ必勝を期し、前哨戦とし
ての「古戦」をにぎやかに
繰り広げておりました。今
回のコンペが前回までと特
に変わった点は地元「セキ
ノ興産」が全面的にバック
アップし、色々なところで

ご協力いただいたことが今
年の特徴です。
このことは賛否両論あり
ますが、コンペ参加者が1
00名という大所帯でコン
ペできたことに繋がった事
と思います。そして、以前
とは違って、なじみの顔よ
りも若い顔が増えてきたこ
とがあげられます。特に、
組み合わせの中でも、全く
知らなかった人同士で組ま
れ、コースを回ってくと自然
と友達同士になり、スコア
も下がる傾向が、盗んで
くささい。そのためにもこ
ういう機会に積極的に参加
し、知り合うことが可能性
への重要なひとつです。待
っているチャンスはありま
せん。

事と思います。
こういふことは時間とお
金を費やすが、必ず自分自
身のもの、業界全体のもの
となって、返り咲くと思
います。ぜひとも、組合員
の中で青年部に加入可能な方
及び、ご息の方をもつ人
は青年部にいれて勉強させ
てください。世の中は広い
ので、考え方、行動力ともに
優れた人はいっぱいおりま
す。若い人はそういう人を
見習うのではなく、盗んで
くささい。そのためにもこ
ういう機会に積極的に参加
し、知り合うことが可能性
への重要なひとつです。待
っているチャンスはありま
せん。

県板青年部八月例会報告

さる8月8日(土曜日)
昼下がり、真夏の最も暑い
頃、

青年部8月例会として家
族ぐるみに、納涼会を大
宮の河川敷にて実施しま
した。

これを読まれている方は
「まったく大変なときに納
涼会をやったな」と思っ
ている方がほとんどと思
いますが、実際は青年部部
員の口頭のおこないが良
いので、

としておりましたが、その
心配がなく大変設備側は助
かりました。
今回の納涼会は「風変わ
り」の口頭のおこないが良
いので、

なりました。このバーベ
キュー大会は家族単位で18
ランド、子供は学年にて
ハンデを設け、婦人と部員
は口頭の記録から(？)ス
コアを計算しました。
なかなか通常のゴルフと
違い、グリーンは思わぬハ
の入手れ等もあいまって賞
典は結果とおりになりま
した。その後河川敷にて、



納涼会 バーベキュー大会



研修旅行 伊豆赤沢にて

行巻

青年部部員並びにOB名簿

平成5年4月1日現在

	氏名	事業所名	事業所住所	事業所電話
1	浅野照夫	(有)浅野工業	加須市北小浜585-1	0480-61-0838
2	新井勇司	(有)新井建築板金	大宮市小深作265-56	048-683-5616
3	新井智和	(有)新井建築板金	大宮市小深作265-56	048-683-5616
4	石崎秀一	石崎板金	鴻巣市笠原685	0485-42-1972
5	伊藤修久	(有)伊藤板金工業所	草加市弁天町533-3	0489-36-1931
6	伊藤義治	(有)伊藤建設工業	入間郡毛呂山町毛呂本郷64	0492-94-0147
7	大島伸夫	大島板金工業(株)	熊谷市円光1-1-40	0485-22-4871
8	大槻輝行	(有)小林建板工業	上尾市浅間台1-18-3	048-774-8571
9	大平新一	(有)大平板金工業	大宮市土呂町2-69-8	048-663-2574
10	粕谷秀夫	(有)粕谷秀夫	川越市古谷本郷871	0492-35-1047
11	加藤常雄	加藤板金	東松山市柏崎728-3	0493-23-1664
12	加藤英雄	(有)加藤板金	東松山市松葉町1-24-20	0493-22-0748
13	神田敬文	神田板金(有)	飯能市八幡町5-1	0429-72-2938
14	菊地 誠	菊地板金	大宮市土呂町2-7-7	048-663-0368
15	栗原篤志	栗原板金工業所	北本市深井2-26	0485-41-1630
16	小出松敏	(株)グリーンクラブ	越谷市宮前1-12-26	0489-64-2369
17	坂ノ下旭	(有)坂ノ下板金	入間市小谷田216-1	0429-64-3301
18	島野保夫	島野板金工業所	東松山市柏崎446	0493-24-0508
19	鈴木克己	鈴木板金	八潮市松ノ木49	0489-96-5247
20	鈴木 茂	(有)鈴木板金工業所	北葛飾郡庄和町土金崎386	048-746-2154
21	高田和雄	和泉板金	東松山市松葉町4-7-30	0493-24-1005
22	高橋一夫	高橋板金工業	北本市石戸宿7-32	0485-91-0375
23	高橋忠司	高橋工業	岩槻市本庁5-5-12	048-756-2747
24	田中雅偉	田中工業(株)	春日部市豊野町2-5	048-737-1400
25	戸井田彰	(有)伸起産業	上尾市地頭方538-9	048-726-3805
26	利根川義典	利根川板金	坂戸市片柳1794	0492-81-1023
27	沼上秀夫	(株)ヌマガミ	熊谷市銀座3-11-2	0485-22-4647
28	根岸忠雄	(有)カワイルーフ	岩槻市宿6-1	048-758-0179
29	野口育男	ノグチシートメタル(株)	川口市安行原90	048-295-1229
30	馬場信義	馬場建築板金工業	羽生市上新郷5937-1	0485-61-7451
31	笛木 治	笛木板金工業	東松山市本町1-4-20	0493-22-1348
32	布施真一	布施板金加工所	熊谷市肥塚98-6	0485-22-5458
33	町田昇行	町田建板工業所	鴻巣市加美2-6-43	0485-41-5734
34	見川和明	(株)富士ルーフ	大宮市塚本町2-154-1	048-624-4534
35	吉野一男	吉野板金工業所	比企郡嵐山町大字菅谷610-2	0493-62-2611

OB ◎卒業年度順です。

1	川田圭司	川田板金工業	羽生市大字藤井上組135-1	0485-65-3447
2	河野俊尚	河野板金工業(株)	上尾市大字平塚2559	048-773-4157
3	鈴木松雄	鈴木板金工業(有)	熊谷市筑波1-83	0485-48-0310
4	平野光男	平野工業(株)	岩槻市府内1-7-76	048-798-1406
5	栗原富幸	(有)栗原板金	熊谷市三ヶ尻3685-2	0485-32-3785

埼玉県板金工業組合青年部組織図

平成5年3月31日



埼玉県板金工業組合青年部10周年記念誌

平成5年4月17日発行

編集人 大島伸夫 野口育夫 新井勇司
町田昇行 粕谷英夫 栗原篤志

発行人 埼玉県鴻巣市天神 2-650-5
埼玉県板金工業組合青年部
TEL 0485-42-3185
FAX 0485-43-2119